授業科目名・形態	地域福祉論　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	菊池まゆみ・門田真・加藤　静	実務経験の有無	有	開講期	2年前期
科目ナンバリング	W4-2032spR				

【授業の主題】

地域福祉の基本的な考え方を理論だけでなく事例を通じて地域福祉の実践を学びながら、地域福祉の主体と対象について理解する。また、地域福祉が私たちにとって身近なものであることや、地域福祉を推進する組織、団体及び専門職の役割と実際について理解し、地域に目を向けたより具体的な地域福祉活動に対する理解を深める。

【到達目標】

1) 地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について理解する。
2) 地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解する。
3) 地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解する。
4) 地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。

【授業計画・内容】　＊菊池が第6回及び第9回以外の13回を担当し、第6回を門田、第9回を加藤が担当する。

第 1 回　地域福祉の基本的な考え方①　地域福祉とは　（菊池まゆみ）
第 2 回　地域福祉の基本的な考え方②　地域福祉の動向　（菊池まゆみ）
第 3 回　地域福祉の基本的な考え方③　地域福祉の主体と福祉教育　（菊池まゆみ）
第 4 回　地域福祉を基盤としたソーシャルワークの展開①　ソーシャルワークの方法　（菊池まゆみ）
第 5 回　地域福祉を基盤としたソーシャルワークの展開②　主体形成に向けたアプローチ　（菊池まゆみ）
第 6 回　地域福祉を基盤としたソーシャルワークの展開③　ソーシャルワークの実践　（門田真）
第 7 回　福祉計画の意義と種類、策定と運用①　福祉計画とは　（菊池まゆみ）
第 8 回　福祉計画の意義と種類、策定と運用②　福祉計画策定の方法　（菊池まゆみ）
第 9 回　福祉計画の意義と種類、策定と運用③　ニーズ把握、評価の方法　（加藤静）
第 10 回　福祉行財政システム①　国・都道府県・市町村の役割　（菊池まゆみ）
第 11 回　福祉行財政システム②　福祉行政の仕組み　（菊池まゆみ）
第 12 回　福祉行財政システム③　福祉の財源　（菊池まゆみ）
第 13 回　地域福祉の新たな動き①　（菊池まゆみ）
第 14 回　地域福祉の新たな動き②　（菊池まゆみ）
第 15 回　まとめ　（菊池まゆみ）

【授業実施方法】基本的には講義形式で行うので主体的に授業に参加すること。
第7回目、第9回目には、授業内容のリアクションペーパーを提出してもらいます。

【事前・事後学習】関連する科目の講義内容で学んだ制度を再確認しておくこと。

レポート作成、課題学習、リアクションペーパー、試験対策等を含めトータル 60 時間程度の自主学習を行うこと。

【主な関連する科目】「社会福祉概論」「社会保障論」「障害者・福祉」「権利擁護と成年後見」

「高齢者福祉論」「児童・家庭福祉論」「貧困に対する支援」

【教科書等】社会福祉士養成講座日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集「地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版

【参考文献】必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】筆記試験 80%、課題提出 10%、授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

社会福祉協議会で在宅福祉相談員、主任介護支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士、事務局長として、社会福祉事業の企画・実施や住民の主体的な活躍を支援してきた。
実務経験から得た住民主体の地域福祉推進の重要性や地域住民との信頼関係の構築を基盤として、知識を深め、幅広い考え方を習得する。

地域福祉の現場の実践例を織り交ぜ、地域で暮らすということを考えさせる機会を増やしたい。

【学生へのメッセージ】

地域福祉は、生活の場である地域の問題へのアプローチに関連します。日頃から地域活動へ関心を持つとともに毎回の出席を心がけてください。